

エコアクション21

環境経営レポート

2022年度
(対象期間：2022年8月～2023年7月)



作成日：2023年10月26日

改訂日：2024年2月21日

■目次

ごあいさつ	P3
環境方針	P3
組織の概要	P4
組織体制・役割	P5
環境目標及びその実績	P6～P8
環境活動計画及び取り組み結果と その評価、次年度の取組内容	P9～P12
環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無・・・	P13
代表者による全体の評価と見直し・指示	P14

■ごあいさつ

当社は1966年に設立して以来、半世紀以上の間、お客様や社会のニーズを常に捉えてお客様に合った事務機器、システム＆ソリューションをご提案してまいりました。

お客様のニーズに合わせて事業を変革しながら、より良いものを提供し続けること。それがいつの時代にも通じるビジネスの基本だと考えています。

現代は、あらゆるものの変化するスピードが速くなり、絶えずその変化の対応していく力が必要であり、そしてお客様のニーズを支えるために、「柔軟性」「小回り力」「スピード力」など対応出来るように心がけていく事が大切であると考えております。

今後も、お客様に価値あるサービスを提供する為に、日本の代表メーカー様からの情報源を活用して、お客様に最適な「ソリューション」「技術力」をワンストップでご提案し、飽くなきチャレンジ精神で、夢と希望を持ち続けて、実現できるビジネスチャンスを追及してまいります。

日研オフィスシステム株式会社

代表取締役社長 鈴木 敬哲

■環境方針

【基本理念】

日研オフィスシステム株式会社は、環境が重要な経営価値と認識し、積極的に地球環境保全活動に努めるべく意識度の高い企業を目指します。

【行動方針】

日研オフィスシステム株式会社は、商業活動において環境保全を重要課題と認識して、以下の方針に基づき積極的に環境の保全・創造に継続的に努めていきます。

(1)事業活動に伴う環境負荷を低減するために、次の活動を積極的に推進します。

1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物の削減
3. 水使用量の削減
4. グリーン購入の推進
5. 環境配慮型商品の販売

(2)環境関連法規等及び当社が同意するその他要求事項を順守し、環境保全に努めます。

(3)SGDs の活動を積極的に行い更新に努める。

制定日 : 2018年2月9日
改定日 : 2022年2月24日

代表取締役社長 鈴木 敬哲

■組織の概要

①名称及び代表者名

日研オフィスシステム株式会社
代表取締役 鈴木 敬哲

②所在地

本社 名古屋市昭和区長池町5丁目11番地の1

③環境管理責任者

責任者 : 山田 弘章

(環境事務局 : 鈴木 孝典)

④連絡先

TEL(052)852-1266

FAX(052)852-3151

⑤事業内容

OA機器販売・保守(複合機・パソコンなど)

3Dプリンタ販売・保守

ソフトウェア開発

消耗品・事務用品販売

システム人材派遣

光コラボ・新電力販売

⑥事業の規模

売 上 : 4.8億円(2022年度)

従業員 : 18名

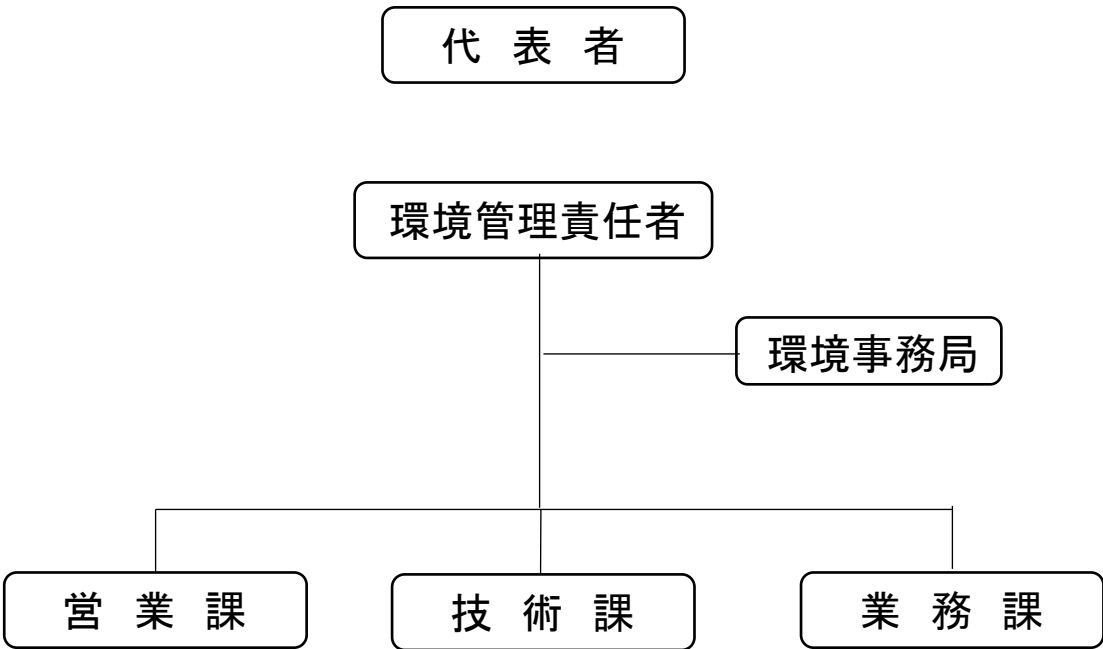
述べ床面積 : 451.02m²

⑦事業年度 : 2022年7月21日～2023年7月20日(7月決算)

※全社・全活動を対象範囲とする

■組織体制・役割

■エコアクション21推進体制



■役割

代表者	○環境に関する統括責任者
	○環境管理責任者の任命
	○環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知
	○資源（人、金、物）の準備
	○環境目標・環境活動計画書の作成
	○環境レポートの承認
	○代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	○環境負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施
	○環境方針の周知
	○環境活動の実績集計
	○取組状況の確認及び評価
	○環境レポート作成、公開
環境事務局	○環境管理責任者の補佐
	○環境方針の周知
	○取組状況の進捗状況の周知
従業員	○環境方針の理解と取組の重要性を自覚
	○決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加

■環境目標及びその実績

項 目		年 度	2017年度		2018年度		2019年度	
			(目標・基準値)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
二酸化炭素総量の削減		kg-CO2 基準年比	37,836	39,834 (5% ↑)	36,700 (3% ↓)	32,808 (13% ↓)	35,560 (6% ↓)	34,818 (7% ↓)
	電力による 二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	15,000	12,455 (16% ↓)	14,550 (3% ↓)	10,411 (30% ↓)	13,500 (10% ↓)	11,005 (26% ↓)
	自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	22,836	27,379 (19% ↑)	22,150 (3% ↓)	22,397 (2% ↓)	22,836 (維持)	23,796 (4% ↑)
一般廃棄物の削減		L 基準年比	6,670	4860 (27% ↓)	6,469 (3% ↓)	5,850 (12% ↓)	6,469 (3% ↓)	5,850 (12% ↓)
産業廃棄物の適正処理		kg 基準年比	適正処理100%(メーカーに返却)					
水道水の使用量維持		m3 基準年比	121	154 (27% ↑)	151 (25% ↑)	139 (15% ↑)	151 (25% ↑)	121 (維持)
グリーン購入の推進			環境に配慮した部品、設備の購入(購入都度検討)					
製品、サービスへの 環境配慮		台(複合機) 基準年比	102	113 (10.7% ↑)	107 (5% ↑)	82 (20% ↓)	107 (5% ↑)	84 (17% ↓)

※ 電力係数:0.426(中部電力ミライズ2019年度版)

※ 一般廃棄物の単位ですが、袋に詰めての廃棄となるため「L」と表記しています。

※(%)は、2017年度基準値に対しての削減率

■環境目標及びその実績

項 目		年 度		2020年度		2021年度		2022年度	
				(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
二酸化炭素総量の削減		kg-CO2 基準年比		35,560 (6% ↓)	37,209 (1% ↓)	37,000 (2% ↓)	35,909 (5% ↓)	36,000 (4% ↓)	33,136 (12% ↓)
	電力による 二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比		13,500 (10% ↓)	11,341 (24% ↓)	12,500 (16% ↓)	11,950 (20% ↓)	12,500 (16% ↓)	9,408 (37% ↓)
	自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比		23,800 (4% ↑)	25,868 (13% ↑)	24,500 (7% ↑)	23,857 (4% ↑)	24,000 (5% ↑)	23,728 (3% ↑)
一般廃棄物の削減		kg 基準年比		750 (0%)	744 (0%)	750 (0%)	845 (12% ↑)	750 (0%)	1,020 (36% ↑)
産業廃棄物の適正処理		kg 基準年比	適正処理100%(メーカーに返却)						
水道水の使用量維持		m3 基準年比		121 (0%)	96 (20% ↓)	100 (17% ↓)	106 (12% ↓)	100 (17% ↓)	96 (20% ↓)
グリーン購入の推進			環境に配慮した部品、設備の購入(購入都度検討)						
製品、サービスへの 環境配慮		台(複合機) 基準年比		86 (15% ↓)	94 (7% ↓)	90 (11% ↓)	53 (48% ↓)	90 (11% ↓)	75 (26% ↓)

※ 電力係数:0.426(中部電力ミライズ2019年度版)

※(%)は、2017年度基準値に対する削減率

※2022年度も、一般廃棄物については引き続き社内の不用品(パソコン、資料、机等)を処分したため増えている。

■環境目標及びその実績

項 目		年 度	2023年度		2024年度		2025年度	
			(目標・基準値)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
二酸化炭素総量の削減		kg-CO2 基準年比	35,418		35,064 (1% ↓)		34,710 (2% ↓)	
	電力による 二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	10,900		10,790 (1% ↓)		10,682 (2% ↓)	
	自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO2 基準年比	24,484		24,240 (1% ↓)		24,000 (2% ↓)	
一般廃棄物の削減		Kg 基準年比	870		860 (1% ↓)		853 (2% ↓)	
産業廃棄物の適正処理		kg 基準年比	適正処理100%(メーカーに返却)					
水道水の使用量維持		m3 基準年比	99		99 (維持)		99 (維持)	
グリーン購入の推進			環境に配慮した部品、設備の購入(購入都度検討)					
製品、サービスへの 環境配慮		台(複合機) 基準年比	74		75 (1% ↑)		76 (2% ↑)	

※ 電力係数:0.426(中部電力ミライズ2019年度版)

◆2023年度からは、2020年度から2022年度の実績の平均値を基準値として算出することとする。

■環境活動計画及び取り組み結果とその評価、次年度の取組内容

◇省エネの推進

【1】電気関連



電気のスイッチの近くに「節電」のポップ

場所によっては、電気のスイッチを随時で切れるように
単独でスイッチ線が付いている。

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取り組み
--------	------	-----------	----------

電力による二酸化炭素削減

数値目標	◎	1～6全て完了。	
1. PC、MFPの省エネ(スリープ)モードの設定	完了		継続
2. クールビズの採用	完了		継続
3. 室内温度の調整	完了		継続
4. トイレ不使用時、通路照明不要時の消灯	完了		継続
5. 尾根への遮熱塗料の塗装	完了		継続
6. LED照明への切り替え	完了		継続

【2】ガソリン関連



社用車に新しい「エコドライブ」
・「アイドリングストップ」のポップ

ecoドライブのポスター貼付

自動車燃料による二酸化炭素削減

数値目標	○	アイドリングストップのポップの張り紙により、2, 3, 5, 6については、完了。	
1. エコドライブの徹底	○	長距離のお客様が増えてきたこともあり、ガソリンの量が増えてしまっているため更には、エコドライブの徹底、冷暖房を控えめに使用するなど・・・徹底していくようにしていきます。	強化
2. 無用なアイドリングの防止	完了		継続
3. タイヤの空気圧の適正値維持	完了		継続
4. 冷暖房を控えめに使用する	○		継続
5. エコカーの導入	完了		継続
6. 更新時に低燃費車の選択	完了		継続

■環境活動計画及び取り組み結果とその評価、次年度の取組内容

【3】廃棄物とリサイクル関連

ゴミ廃棄フローについて

- 1 PE・PPやダンボール・発泡スチロール等を種類ごとに分別を行う。



- 2 分別したゴミに「廃棄」の張り紙を貼り付ける。



- 3 メーカーへ廃棄依頼の連絡を入れる。
- 4 指定された日に廃棄物が回収される。

■環境活動計画及び取り組み結果とその評価、次年度の取組内容

事業ゴミ処理の新しく取組始めた事

- 1 会社から発生するごみを事業ごみ袋へまとめて、秤に乗せる（一袋6.3kg以内に収める）



- 2 事業ごみシールを張り付け、毎週木曜日の夕方に事務所の前に出す。

- 3 金曜日の早朝に回収にくるので、持って行ったことを確認する。

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取り組み
--------	------	-----------	----------

一般廃棄物の削減

数値目標	×	1～4全て完了。	
1. コピー用紙の両面使用をする	完了		継続
2. 書類内容のレイアウトを見直し、枚数を少なくする	完了		継続
3. 文書の共有により、不要な印刷物を削減する	完了		継続
4. シュレッダー廃棄量を計測監視実施	完了		継続

産業廃棄物の削減

数値目標	－	1～3全て完了。	
1. 産廃処理(排気依頼)量の計測監査実施	完了		継続
2. 在庫管理の徹底により不要在庫を減らす	完了		継続
3. 分別を徹底する	完了		継続

■環境活動計画及び取り組み結果とその評価、次年度の取組内容

【4】水資源関連



水道の蛇口の近くに「節水」のポップ

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価	次年度の取り組み
--------	------	-----------	----------

水道水の使用料削減

数値目標	○	1～3全て完了。	
1. 節水表示を行う	完了		継続
2. 水道を流しながら使用しない	完了		継続
3. 蛇口、排水管の水漏れがないか確認をする	完了		継続

【5】グリーン製品関連

グリーン購入の推進

数値目標	△	カタログ通販をしようとしているが、実施把握が出来ていないので、今後は目標値を決めて取り組んでいければと思っています。	
1. 社内用購入時チェックの強化	△		強化
2. 目標値の設定	△		強化

【6】製品・サービス関連

製品、サービスへの環境配慮

数値目標	×	1～4すべて完了。	
1. 客先業務合理化の提案推進（主にデジタルMFP）	完了		継続
2. MIF機の省エネ設計機種へのリブレース推進	完了		継続
3. 客先省エネ促進商材の提案（取扱商品全般）	完了		継続
4. メーカー協賛の拡販キャンペーン実施	完了		継続

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

日研オフィスシステム株式会社 環境法規制等要求事項一覧表
(兼 2019年度 環境法規制遵守チェックシート)

Rev.0 2021/01/15 作成
Rev.0 2023/02/22 改定

作成時	
承認	作成
鈴木	山田

2022年度
遵守評価年月日
2022/09/20

遵守評価時	
承認	作成
鈴木	山田

☐ : 法令・政令・省令 ☐ : 愛知県条例 ☐ : 適用非該当

1. 法的要求事項

区分	適用法令等			適用法の要求事項・内容			適用 ○印			遵守評価	
	法令・政省令	愛知県条例	法律・政令・省令・条例等の名称	適用法令事項	法要求内容	該当物品 対象施設 他	協力 順守義務	設置届出 許可申請 事前契約	監視測定 (規制値) 定期報告	遵守確認資料 他	判定
廃棄物	○		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業者の責務	廃棄物の適正処理。現地確認する。	産業廃棄物 鉄・段ボール、パソコン 廃プラスチック 紙屑 金属屑	○			契約書の締結と、許可証の確認 マニフェスト発行と保管を確認 (A,B2,D,E票) 「E表」に照合確認日付を記載する。 R4年度は無し。 掲示板を確認 事業系一般廃棄物置場を確認	OK
				事業者の処理	産業廃棄物収集運搬、処分業者との委託契約 (2者契約、契約書と許可証の写し 5年間保管)			○			
				産業廃棄物管理票	マニフェスト管理 (A, B2, D, E票) 照合、5年間保管				○		
				産業廃棄物の運搬 (R6) (K7の2の2)	事業者自ら産業廃棄物を運搬する場合、運搬車に表示						
				産業廃棄物保管基準 (K8)	掲示板による必要事項の表示 (60cm x 60cm)			○			
				産業廃棄物管理票	産業廃棄物管理票 (マニフェスト) 交付等状況の報告 (毎年6月30日までに報告)				○		
環境	○		地球温暖化対策の推進に関する法律	事業者の責務 (H5)	温室効果ガスの排出抑制、行政の施策に協力	非該当	○			省エネ活動を環境活動計画で確認	OK
				特定排出者の指定	特定排出者: 全ての事業所の原油換算エネルギーの合計量が 1,500kワットル以上 特定事業所排出者: 事業所単位で原油換算エネルギー使用量が 1,500kワットル以上					(非該当)	-
				温室効果ガス算定排出量の報告	特定排出者、及び特定事業所排出者の報告						
	○		フロン排出抑制法	簡易定期点検	第一種特定製品の点検 3か月ごとに1回点検実施。 室外機1回/年点検実施。	エアコン	○				OK
	○		消防法	設備点検	防火設備定期点検 3年に1度、定期点検を実施している			○		R4年8月18日実施	OK
	○		道路交通安全法	道路交通安全法第74条	安全運転管理 安全運転管理者の専任を行っている	5台以上の所有		○			OK
再資源化	○		資源の有効な利用の促進に関する法律	事業者等の責務 消費者の責務	長期使用と再生資源利用促進への協力	複合機	○			リサイクルプログラムを実施しているメーカーへの返却	OK
	○		特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	事業者および消費者の責務 (H6)	長期間使用による排出抑制、適切な引渡しと処理料金の支払い	TV、エアコン、冷蔵庫、洗濯機	○			該当物品の排出はなし	OK
	○		グリーン購入法	環境負荷の少ない物品の推進	環境負荷の少ない物品等及び環境負荷低減に努めている事業者の選択	HDD、ディスプレイ等	○			「G」マークが付与されている製品の販売実績	OK

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等の遵守されていました。
尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21活動への取組を開始し、LED照明、遮断塗料、最新の省エネ対応エアコンへの入替え、車購入時はハイブリッド・・・などに取組んで5年間経ちました。

グリーン製品購入推進以外は、ほぼほぼ取組完了しております。

今回は、コロナの影響もありかWebでの打合せが増えた事によりガソリン料が減っている感じがします。

製品の入荷は通常に戻りつつありますが、コロナで落ち込んだ需要は直ぐには戻ってこない状況となりまだまだ厳しい戦いとなりました。

1. 環境経営方針: 変更なし

2. 環境経営目標及び環境経営計画

コロナによる売れる商品も変わってきたため、新しい製品の取組流れを作り売上を伸ばしていく事を心掛ける。

そして引き続き、エコドライブ、冷暖房を控えめにするなど、削減へと繋げていければ・・・と考えています。

更に、2022年度取得のSDGs、会社全体で環境問題について考え、電気の消灯やエアコンの温度設定、エコドライブ等はお互いに注意しあえる組織の構築を引き続き目指してまいります。

3. 実施体制: 変更なし。

この環境活動を取組むにあたり、ただ社員に呼びかけるだけでなく、現状分析もしっかりと行いながら活動していきたいと考えております。

2023年10月25日

代表取締役 鈴木 敬哲



会社周辺清掃活動



省エネタイプエアコンに入替え・LED照明